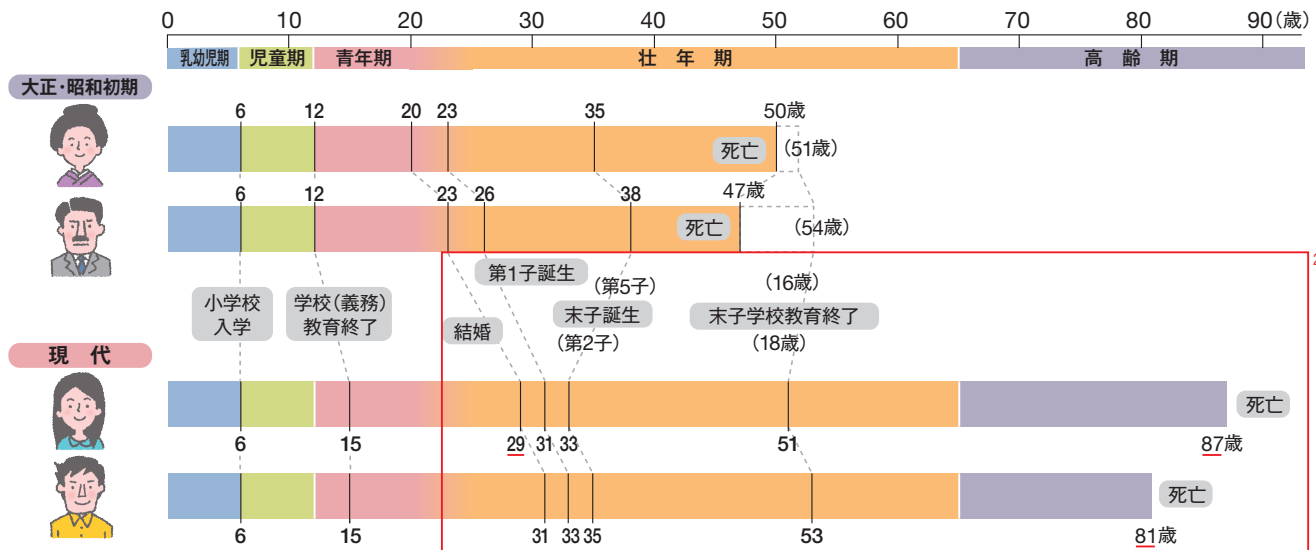


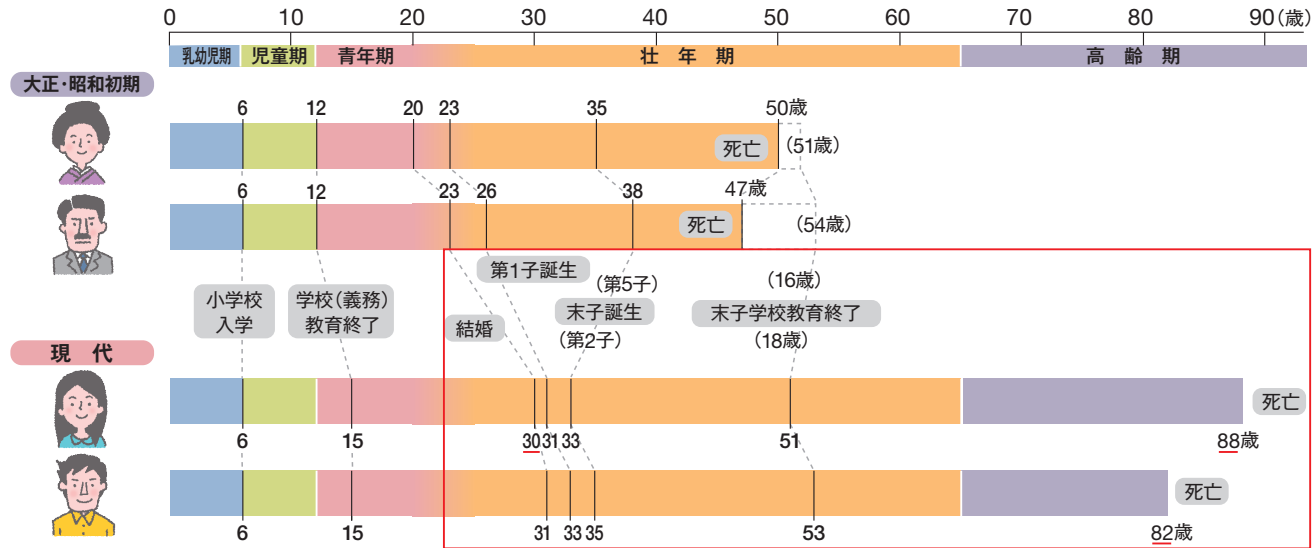
訂正箇所		原 文	訂 正 文
ページ	行		
19	側注⑦	⑦90歳まで生存する者の割合は、男性 <u>27.2%</u> 、女性 <u>51.1%</u> である（ <u>2019</u> 年）。	⑦90歳まで生存する者の割合は、男性 <u>28.4%</u> 、女性 <u>52.5%</u> である（ <u>2020</u> 年）。

時代別に見た人の一生



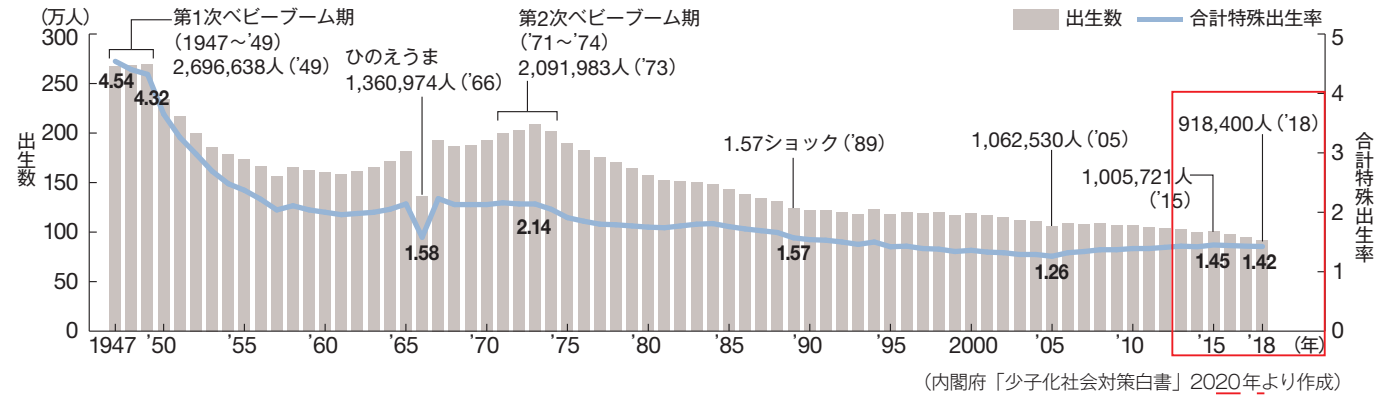
(注) 年齢は概算化してある。寿命は、生まれた時期の平均余命を用いている。
 (厚生労働省「生命表」「人口動態統計」[文部科学省「文部科学統計要覧」](#)より作成)

時代別に見た人の一生

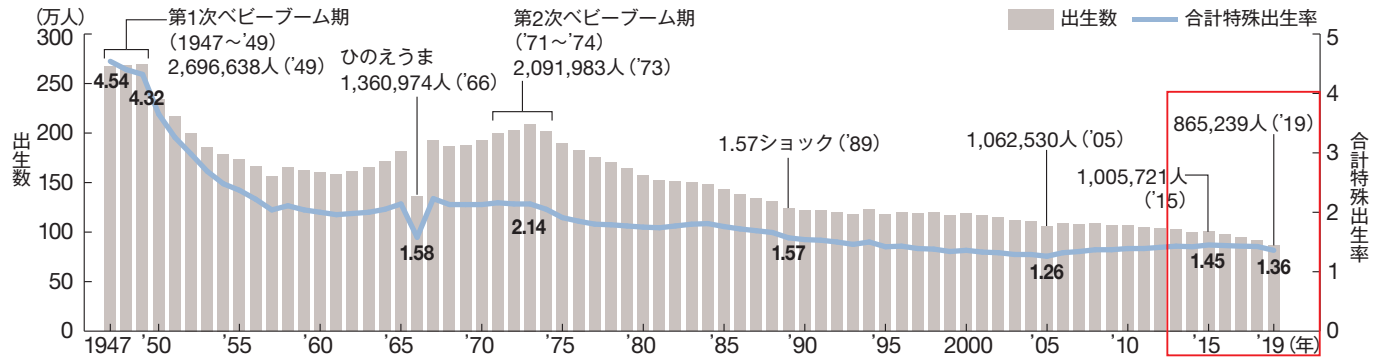


(注) 年齢は概算化してある。寿命は、生まれた時期の平均余命を用いている。
(厚生労働省「生命表」「人口動態統計」より作成)

② 合計特殊出生率と出生数の推移



② 合計特殊出生率と出生数の推移



(内閣府「少子化社会対策白書」2021年、厚生労働省「人口動態統計」より作成)

訂正箇所		原 文	訂 正 文
ページ	行		
26	24-25	助しなければならない」と定めている。法律上は、男性は18歳 ^{削除} 、 <u>女性は16歳</u> になれば結婚できるが、経済的にも精神的にも十分に自立してから結婚するようにしたい。	助しなければならない」と定めている。法律上は、 <u>男女とも18歳</u> になれば結婚できるが、経済的にも精神的にも十分に自立してから結婚するようにしたい。

訂正箇所		原文	
ページ	行		
26	②	<p>② 結婚に関する法律(民法)</p> <p>第731条* ^{削除} 男は、18歳に、女は、16歳にならなければ、婚姻をすることができない。</p> <p>第732条 配偶者のある者は、重ねて婚姻をすることができない。</p> <p>第733条 ①女は、前婚の解消又は取消しの日から起算して百日を経過した後でなければ、再婚をすることができない。</p> <p>第734条 ①直系血族又は三親等内の傍系血族の間では、婚姻をすることができない。</p> <p>^{削除} 第737条* ①未成年の子が婚姻をするには、父母の同意を得なければならない。</p> <p>②父母の一方が同意しないときは、他の一方の同意だけで</p>	<p>に目立しくかり結婚するよつにしたい。</p> <p>^{削除} 第739条 ①婚姻は、戸籍法の定めるところにより届け出ることによって、その効力を生ずる。</p> <p>第750条 夫婦は、婚姻の際に定めるところに従い、夫又は妻の氏を称する。</p> <p>第752条 夫婦は同居し、互いに協力し扶助しなければならない。</p> <p>^{削除} 第753条* 未成年者が婚姻をしたときは、これによって成年に達したものとみなす。</p> <p>第760条 夫婦は、その資産、収入その他一切の事情を考慮して、婚姻から生ずる費用を分担する。</p>
<p>* 2018年の改正により民法第731条は「婚姻は、18歳にならなければ、することができない。」に、第737条と第753条は削除になる(2022年4月1日施行)。</p>			

ら結婚するよつにしたい。

② 結婚に関する法律(民法)

第731条 婚姻は、18歳にならなければ、することができない。

第732条 配偶者のある者は、重ねて婚姻をすることができない。

第733条 ①女は、前婚の解消又は取消しの日から起算して百日を経過した後でなければ、再婚をすることができない。

第734条 ①直系血族又は三親等内の傍系血族の間では、婚姻をすることができない。

第739条 ①婚姻は、戸籍法の定めるところにより届け出ることによって、その効力を生ずる。

第750条 夫婦は、婚姻の際に定めるところに従い、夫又は妻の氏を称する。

第752条 夫婦は同居し、互いに協力し扶助しなければならない。

第760条 夫婦は、その資産、収入その他一切の事情を考慮して、婚姻から生ずる費用を分担する。

(注) 2018年改正までは、女性の婚姻開始年齢は16歳であった。また、未成年者の婚姻には父母の同意が必要であること(第737条)、未成年者が婚姻をすると成年と見なされること(第753条)が定められていた。

訂正箇所		原 文	訂 正 文												
ページ	行														
27	⑥	<p>⑥ 民法改正の検討課題（一部）</p> <p>社会の変化に伴い、結婚観や家族に対する考え方は、大きく変化した。現行民法は、個人の尊厳と両性の平等という面から見て、不十分な部分があるため、1996年に、法制審議会において民法の改正が検討された。このうち非嫡出子の法定相続分は2013年改正で「嫡出子*の2分の1」から「嫡出子と同等」に、女性の再婚禁止期間は2016年改正で6か月から100日に短縮された。さらに婚姻の最低年齢も、2018年改正で男性18歳、女性16歳から男女とも18歳となった（2022年施行）。しかし、まだ国会での審議に至っていない検討課題もある。削除</p> <p>*法律上婚姻関係にある男女から生まれた子</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>現行</th> <th>改正案</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●夫婦は同姓</td> <td>●同姓または別姓を選択できる。</td> </tr> <tr> <td>●婚姻の最低年齢は 男18歳、女16歳。</td> <td>●男女とも18歳とする*。</td> </tr> </tbody> </table> <p>削除</p> <p>*2018年改正、2022年施行。 (法務省法制審議会答申 1996年より作成)</p>	現行	改正案	●夫婦は同姓	●同姓または別姓を選択できる。	●婚姻の最低年齢は 男18歳、女16歳。	●男女とも18歳とする*。	<p>⑥ 選択的夫婦別姓制度についての民法改正案</p> <p>社会の変化に伴い、結婚観や家族に対する考え方は、大きく変化した。現行民法は、個人の尊厳と両性の平等という面から見て、不十分な部分があるため、1996年に、法制審議会において民法の改正が検討された。このうち非嫡出子の法定相続分は2013年改正で「嫡出子*の2分の1」から「嫡出子と同等」に、女性の再婚禁止期間は2016年改正で6か月から100日に短縮された。さらに婚姻開始年齢も、2018年改正で男性18歳、女性16歳から男女とも18歳となった。しかし、まだ国会での審議に至っていない検討課題もある。<u>選択的夫婦別姓制度は、その1つである。</u></p> <p>*法律上婚姻関係にある男女から生まれた子</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>現行</th> <th>改正案</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●夫婦は同姓</td> <td>●同姓または別姓を選択できる。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>●子どもの姓は婚姻時に決める。</td> </tr> </tbody> </table> <p>(法務省法制審議会答申 1996年より作成)</p>	現行	改正案	●夫婦は同姓	●同姓または別姓を選択できる。		●子どもの姓は婚姻時に決める。
現行	改正案														
●夫婦は同姓	●同姓または別姓を選択できる。														
●婚姻の最低年齢は 男18歳、女16歳。	●男女とも18歳とする*。														
現行	改正案														
●夫婦は同姓	●同姓または別姓を選択できる。														
	●子どもの姓は婚姻時に決める。														
30	側注②	<p>② 育児休業制度 育児・介護休業法（1995年）に基づき、仕事と家庭生活を両立させながら、男女が協力して、子どもを育てるための制度。育児休業制度がある事業所（5人以上）は79.1%、取得率は女性<u>83.0%</u>、男性<u>7.48%</u>（2019年度）である。</p>	<p>② 育児休業制度 育児・介護休業法（1995年）に基づき、仕事と家庭生活を両立させながら、男女が協力して、子どもを育てるための制度。育児休業制度がある事業所（5人以上）は79.1%（2019年度）、取得率は女性<u>81.6%</u>、男性<u>12.65%</u>（2020年度）である。</p>												

訂正箇所		原 文	訂 正 文
ページ	行		
30	側注④	<p>削除</p> <p>④2016年に施行された女性活躍推進法により、301人以上の事業主は職場における女性の活躍推進に向けて、数値目標を含めた行動計画の策定・公表が義務付けられている。</p>	<p>④女性活躍推進法により、101人以上の事業主は職場における女性の活躍推進に向けて、数値目標を含めた行動計画の策定・公表が義務付けられている。</p>
47	④	<p>④ 乳幼児の死亡事故の原因</p> <p>(厚生労働省「平成30(2018)年人口動態統計」)</p>	<p>④ 乳幼児の死亡事故の原因</p> <p>(厚生労働省「令和元(2019)年人口動態統計」)</p>
49	側注④	<p>④ 育児・介護休業法</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 育児休業 <ul style="list-style-type: none"> ・子が1歳になる誕生日の前日まで取得可能（保育所に入れないなど、休業が必要と認められる一定の場合には最長2歳になるまで） ・父母共に取得する場合には子が1歳2か月になるまで（期間は1年まで） ● 学齢前の子どもをもつ親の時間外労働・深夜業の制限 ● 子の看護休暇年5日（子が2人以上の場合は年10日） 	<p>④ 育児・介護休業法</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 出生時育児休業（男性版産休*）：生後8週まで4週間、2回まで分割可能 ● 育児休業：子が1歳（父母共に取得する場合は1歳2か月）まで1年間（保育所に入れないなど一定の場合には最長2歳まで延長可能）、2回まで分割*可能 ● 事業主による休業を取得しやすい環境整備と、対象者への個別制度周知・休業取得意向確認の義務 ● 学齢前の子をもつ親の時間外労働・深夜業の制限 ● 子の看護休暇年5日（子が2人以上の場合は年10日） <p>* 2021年6月9日から1年半以内に施行予定</p>
49	④	<p>④ 育児休業取得者の割合</p> <p>(厚生労働省「女性雇用管理基本調査」「雇用均等基本調査」)</p>	<p>④ 育児休業取得者の割合</p> <p>(厚生労働省「女性雇用管理基本調査」「雇用均等基本調査」)</p>

55	④	④
----	---	---

④ 保育所，幼稚園，認定こども園の比較

	保育所	認定こども園	幼稚園
対象	保育を必要とする乳幼児	保育を必要とする乳幼児・保護者の希望による	保護者の希望による
年齢	0歳～就学前の乳幼児 <small>削除</small>	0歳～就学前の乳幼児 <small>削除</small>	満3歳～就学前までの幼児 <small>削除</small>
保育者	保育士	保育士・保育教諭・幼稚園教諭	幼稚園教諭
教育および保育時間	原則8時間 (+延長保育*)	4時間・8時間 (+延長保育など*)	標準4時間 (+預かり保育*)
保育料	3～5歳児と住民税非課税世帯の0～2歳児は無償 (一部月額上限あり)		
性格	児童福祉施設	児童福祉施設・学校教育機関	学校教育機関
管轄	厚生労働省	内閣府・厚生労働省・文部科学省	文部科学省
法律	児童福祉法	就学前保育等推進法(略称)	学校教育法

*園によって異なる。
 (注) 上記以外に、保育所より少人数の単位で、0～2歳を保育する事業(地域型保育)がある。

④ 保育所，幼稚園，認定こども園の比較

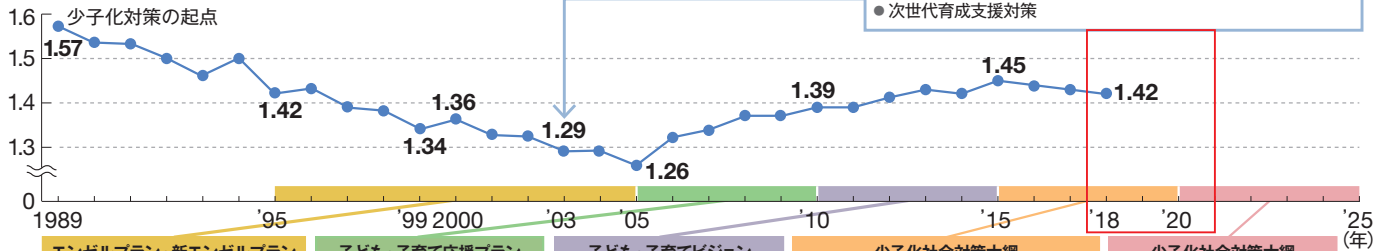
	保育所	認定こども園	幼稚園
対象	保育を必要とする乳幼児	保育を必要とする乳幼児・保護者の希望による	保護者の希望による
年齢	0歳～就学前	0歳～就学前	満3歳～就学前
保育者	保育士	保育士・保育教諭・幼稚園教諭	幼稚園教諭
教育および保育時間	原則8時間 (+延長保育*)	4時間・8時間 (+延長保育など*)	標準4時間 (+預かり保育*)
保育料	3～5歳児と住民税非課税世帯の0～2歳児は無償 (一部月額上限あり)		
性格	児童福祉施設	児童福祉施設・学校教育機関	学校教育機関
管轄	厚生労働省	内閣府・厚生労働省・文部科学省	文部科学省
法律	児童福祉法	認定こども園法(略称)	学校教育法

*園によって異なる。
 (注) 上記以外に、保育所より少人数の単位で、0～2歳を保育する事業(地域型保育)がある。

⑤ 合計特殊出生率の推移と子育てに関する施策

(厚生労働省「人口動態統計」)

合計特殊出生率



次世代育成支援対策推進法 (2003年～)

- 子育て中の労働者が仕事と家庭を両立するための雇用環境の整備
- 多様な労働条件の整備による働き方の見直し
- 次世代育成支援対策

エンゼルプラン・新エンゼルプラン (1995～2004年度)

- 仕事と家庭の両立支援のための雇用環境の整備
- 多様な保育サービスの拡充
- 地域の子育て支援の推進 など

子ども・子育て応援プラン (2005～2009年度)

- 仕事と家庭の両立支援と働き方の見直し
- 子育ての支え合い・連帯
- 生命の大切さ、家庭の役割等についての理解
- 若者の自立と健全育成

子ども・子育てビジョン (2010～2014年度)

- 仕事と生活の調和
- 妊娠・出産・子育ての希望の実現
- 子育て力のある地域社会
- 子どもの育ちと若者の成長への支援

少子化社会対策大綱 (第3次：2015～2019年度)

- 個々人が結婚や子どもについての希望を実現できる社会
- 「結婚、妊娠・出産、子育ての各段階に応じた切れ目のない取り組み」と「地域・企業など社会全体の取り組み」
- 子どもへの資源配分を拡充

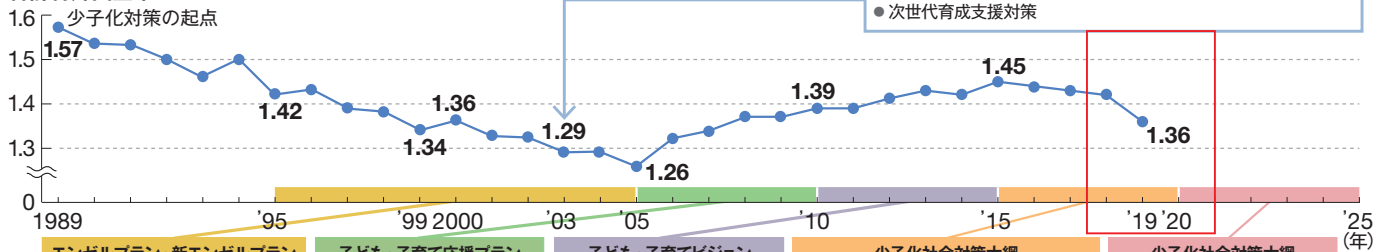
少子化社会対策大綱 (第4次：2020～2024年度)

- 「希望出生率1.8」の実現に向けた総合的な少子化対策
- 更に強力に少子化対策を押し進めるために必要な安定財源の確保

⑤ 合計特殊出生率の推移と子育てに関する施策

(厚生労働省「人口動態統計」)

合計特殊出生率



次世代子育て支援対策推進法(2003年～)

- 子育て中の労働者が仕事と家庭を両立するための雇用環境の整備
- 多様な労働条件の整備による働き方の見直し
- 次世代子育て支援対策

エンゼルプラン・新エンゼルプラン (1995～2004年度)

- 仕事と家庭の両立支援のための雇用環境の整備
- 多様な保育サービスの拡充
- 地域の子育て支援の推進 など

子ども・子育て応援プラン (2005～2009年度)

- 仕事と家庭の両立支援と働き方の見直し
- 子育ての支え合い・連帯
- 生命の大切さ、家庭の役割等についての理解
- 若者の自立と健全育成

子ども・子育てビジョン (2010～2014年度)

- 仕事と生活の調和
- 妊娠・出産・子育ての希望の実現
- 子育て力のある地域社会
- 子どもの育ちと若者の成長への支援

少子化社会対策大綱 (第3次：2015～2019年度)

- 個々人が結婚や子どもについての希望を実現できる社会
- 「結婚、妊娠・出産、子育ての各段階に応じた切れ目のない取り組み」と「地域・企業など社会全体の取り組み」
- 子どもへの資源配分を拡充

少子化社会対策大綱 (第4次：2020～2024年度)

- 「希望出生率1.8」の実現に向けた総合的な少子化対策
- 更に強力に少子化対策を押し進めるために必要な安定財源の確保

61 ①

① 平均寿命の推移

年次	男	女
1935～1936	46.9年	49.6年
1947	50.1	54.0
1955	63.6	67.8
1960	65.3	70.2
1965	67.7	72.9
1970	69.3	74.7
1975	71.7	76.9
1980	73.4	78.8
1985	74.8	80.5
1990	75.9	81.9
1995	76.4	82.9
2000	77.7	84.6
2005	78.6	85.5
2010	79.6	86.3
2015	80.8	87.0
2019	<u>81.4</u>	<u>87.5</u>

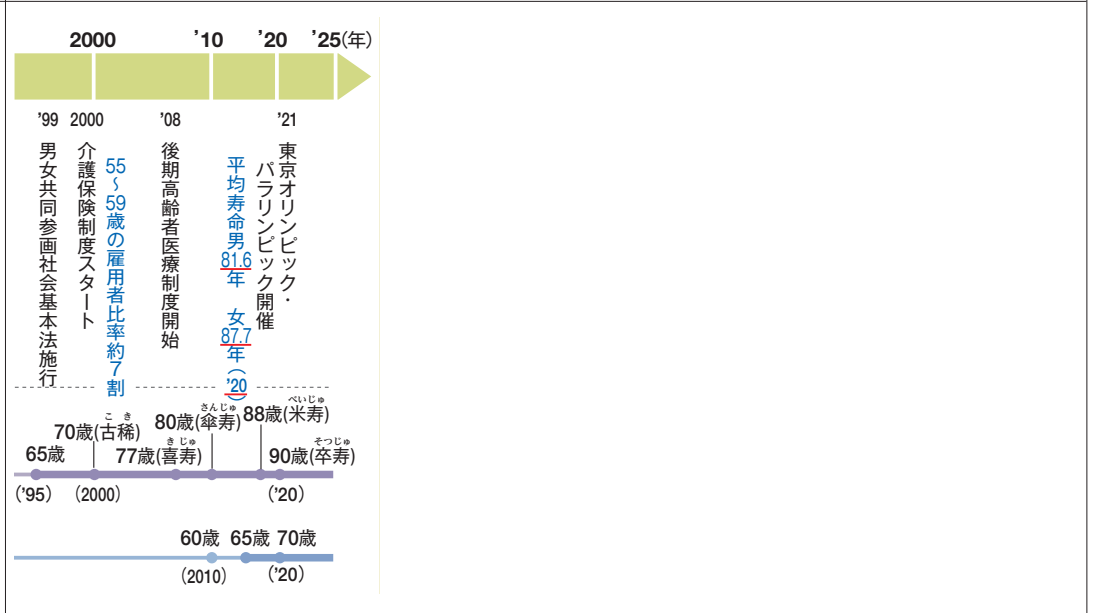
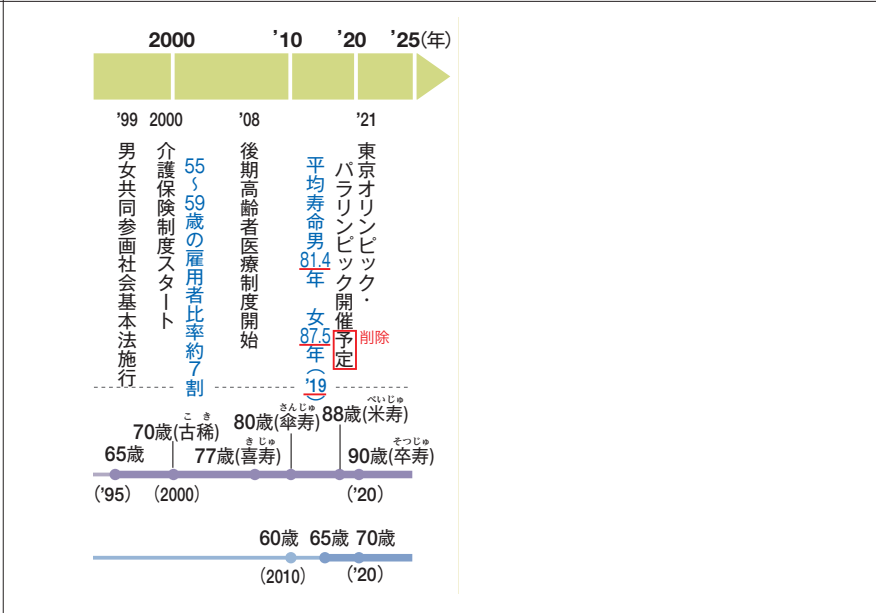
(厚生労働省「簡易生命表」「完全生命表」)

① 平均寿命の推移

年次	男	女
1935～1936	46.9年	49.6年
1947	50.1	54.0
1955	63.6	67.8
1960	65.3	70.2
1965	67.7	72.9
1970	69.3	74.7
1975	71.7	76.9
1980	73.4	78.8
1985	74.8	80.5
1990	75.9	81.9
1995	76.4	82.9
2000	77.7	84.6
2005	78.6	85.5
2010	79.6	86.3
2015	80.8	87.0
2020	<u>81.6</u>	<u>87.7</u>

(厚生労働省「簡易生命表」「完全生命表」)

63 TRY

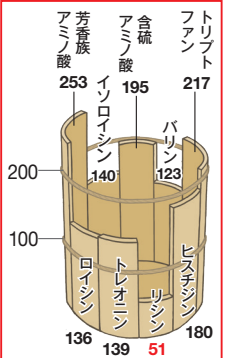
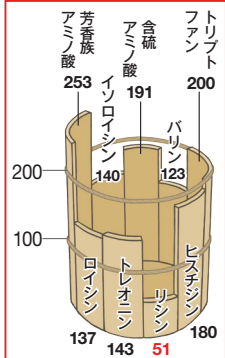


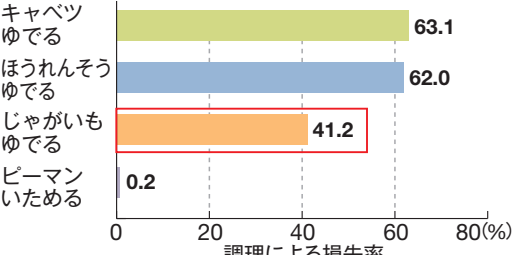
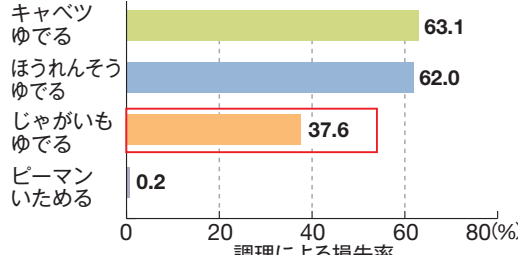
訂正箇所		原 文	訂 正 文																																																																																	
ページ	行																																																																																			
65	①	① 年齢別100m走の日本記録(2020年)	① 年齢別100m走の日本記録(2021年)																																																																																	
65	③	<p>③ 日常生活に影響のある高齢者の割合(%)</p> <p>1 年齢別 (65歳以上・複数回答)</p> <table border="1"> <tr><th>年齢別</th><td>65歳～69歳</td><td>70歳～74歳</td><td>75歳～79歳</td><td>80歳～84歳</td><td>85歳以上</td><td>65歳以上全体</td></tr> <tr><th>割合(%)</th><td>14.7</td><td>19.3</td><td>25.6</td><td>34.7</td><td>45.9</td><td>24.7</td></tr> </table> <p>2 影響のある動作 (65歳以上・複数回答)</p> <table border="1"> <tr><th>動作</th><td>日常生活動作</td><td>外出</td><td>仕事家事学業</td><td>運動</td><td>その他</td></tr> <tr><th>割合(%)</th><td>11.2</td><td>11.2</td><td>9.1</td><td>8.2</td><td>3.2</td></tr> </table> <p>(厚生労働省「平成28(2016)年国民生活基礎調査」)</p>	年齢別	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳～84歳	85歳以上	65歳以上全体	割合(%)	14.7	19.3	25.6	34.7	45.9	24.7	動作	日常生活動作	外出	仕事家事学業	運動	その他	割合(%)	11.2	11.2	9.1	8.2	3.2	<p>③ 日常生活に影響のある高齢者の割合(%)</p> <p>1 年齢別 (65歳以上・複数回答)</p> <table border="1"> <tr><th>年齢別</th><td>65歳～69歳</td><td>70歳～74歳</td><td>75歳～79歳</td><td>80歳～84歳</td><td>85歳以上</td><td>65歳以上全体</td></tr> <tr><th>割合(%)</th><td>14.8</td><td>17.3</td><td>23.5</td><td>32.8</td><td>45.2</td><td>23.8</td></tr> </table> <p>2 影響のある動作 (65歳以上・複数回答)</p> <table border="1"> <tr><th>動作</th><td>外出</td><td>日常生活動作</td><td>仕事家事学業</td><td>運動</td><td>その他</td></tr> <tr><th>割合(%)</th><td>10.9</td><td>10.6</td><td>8.5</td><td>8.0</td><td>3.2</td></tr> </table> <p>(厚生労働省「令和元(2019)年国民生活基礎調査」)</p>	年齢別	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳～84歳	85歳以上	65歳以上全体	割合(%)	14.8	17.3	23.5	32.8	45.2	23.8	動作	外出	日常生活動作	仕事家事学業	運動	その他	割合(%)	10.9	10.6	8.5	8.0	3.2																													
年齢別	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳～84歳	85歳以上	65歳以上全体																																																																														
割合(%)	14.7	19.3	25.6	34.7	45.9	24.7																																																																														
動作	日常生活動作	外出	仕事家事学業	運動	その他																																																																															
割合(%)	11.2	11.2	9.1	8.2	3.2																																																																															
年齢別	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳～84歳	85歳以上	65歳以上全体																																																																														
割合(%)	14.8	17.3	23.5	32.8	45.2	23.8																																																																														
動作	外出	日常生活動作	仕事家事学業	運動	その他																																																																															
割合(%)	10.9	10.6	8.5	8.0	3.2																																																																															
66	①	<p>① 要介護など的高齢者の割合(%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>65歳以上計</th> <th>65～74歳</th> <th>75歳以上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>要支援・要介護高齢者計</td><td>18.0</td><td>4.3</td><td>31.9</td></tr> <tr><td>要支援1</td><td>2.5</td><td>0.7</td><td>4.3</td></tr> <tr><td>要支援2</td><td>2.5</td><td>0.7</td><td>4.3</td></tr> <tr><td>要介護1</td><td>3.6</td><td>0.8</td><td>6.5</td></tr> <tr><td>要介護2</td><td>3.1</td><td>0.8</td><td>5.5</td></tr> <tr><td>要介護3</td><td>2.4</td><td>0.5</td><td>4.3</td></tr> <tr><td>要介護4</td><td>2.2</td><td>0.4</td><td>4.0</td></tr> <tr><td>要介護5</td><td>1.7</td><td>0.4</td><td>3.0</td></tr> </tbody> </table> <p>(注) 各年齢の高齢者数を100としたときの割合。 (厚生労働省「平成29(2017)年度介護保険事業状況報告」)</p>		65歳以上計	65～74歳	75歳以上	要支援・要介護高齢者計	18.0	4.3	31.9	要支援1	2.5	0.7	4.3	要支援2	2.5	0.7	4.3	要介護1	3.6	0.8	6.5	要介護2	3.1	0.8	5.5	要介護3	2.4	0.5	4.3	要介護4	2.2	0.4	4.0	要介護5	1.7	0.4	3.0	<p>① 要介護など的高齢者の割合(%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>65歳以上計</th> <th>65～74歳</th> <th>75～84歳</th> <th>85歳以上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>要支援1</td><td>2.6</td><td>0.7</td><td>3.5</td><td>6.6</td></tr> <tr><td>要支援2</td><td>2.6</td><td>0.7</td><td>3.0</td><td>7.2</td></tr> <tr><td>要介護1</td><td>3.7</td><td>0.8</td><td>4.0</td><td>11.8</td></tr> <tr><td>要介護2</td><td>3.1</td><td>0.7</td><td>3.1</td><td>10.6</td></tr> <tr><td>要介護3</td><td>2.4</td><td>0.5</td><td>2.1</td><td>8.8</td></tr> <tr><td>要介護4</td><td>2.2</td><td>0.4</td><td>1.8</td><td>8.5</td></tr> <tr><td>要介護5</td><td>1.7</td><td>0.4</td><td>1.4</td><td>6.0</td></tr> <tr><td>合計</td><td>18.3</td><td>4.2</td><td>18.9</td><td>59.5</td></tr> </tbody> </table> <p>(注) 各年齢の高齢者数を100としたときの割合。 (厚生労働省「平成30(2018)年度介護保険事業状況報告」)</p>		65歳以上計	65～74歳	75～84歳	85歳以上	要支援1	2.6	0.7	3.5	6.6	要支援2	2.6	0.7	3.0	7.2	要介護1	3.7	0.8	4.0	11.8	要介護2	3.1	0.7	3.1	10.6	要介護3	2.4	0.5	2.1	8.8	要介護4	2.2	0.4	1.8	8.5	要介護5	1.7	0.4	1.4	6.0	合計	18.3	4.2	18.9	59.5
	65歳以上計	65～74歳	75歳以上																																																																																	
要支援・要介護高齢者計	18.0	4.3	31.9																																																																																	
要支援1	2.5	0.7	4.3																																																																																	
要支援2	2.5	0.7	4.3																																																																																	
要介護1	3.6	0.8	6.5																																																																																	
要介護2	3.1	0.8	5.5																																																																																	
要介護3	2.4	0.5	4.3																																																																																	
要介護4	2.2	0.4	4.0																																																																																	
要介護5	1.7	0.4	3.0																																																																																	
	65歳以上計	65～74歳	75～84歳	85歳以上																																																																																
要支援1	2.6	0.7	3.5	6.6																																																																																
要支援2	2.6	0.7	3.0	7.2																																																																																
要介護1	3.7	0.8	4.0	11.8																																																																																
要介護2	3.1	0.7	3.1	10.6																																																																																
要介護3	2.4	0.5	2.1	8.8																																																																																
要介護4	2.2	0.4	1.8	8.5																																																																																
要介護5	1.7	0.4	1.4	6.0																																																																																
合計	18.3	4.2	18.9	59.5																																																																																

































訂正箇所		原文	訂正文																																																																												
ページ	行																																																																														
67	③	<p>③ 高齢者世帯の所得の種類別割合</p> <table border="1"> <caption>高齢者世帯の所得の種類別割合 (%)</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>稼働所得</th> <th>財産所得</th> <th>公的年金・恩給</th> <th>それ以外の所得</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1975</td> <td>56.0</td> <td>9.6</td> <td>26.2</td> <td>8.2</td> </tr> <tr> <td>1995</td> <td>29.1</td> <td>7.0</td> <td>58.7</td> <td>5.2</td> </tr> <tr> <td>2015</td> <td>21.1</td> <td>7.4</td> <td>65.4</td> <td>6.1</td> </tr> <tr> <td>2017</td> <td>25.4</td> <td>8.0</td> <td>61.1</td> <td>5.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>(厚生労働省「国民生活基礎調査」)</p>	年	稼働所得	財産所得	公的年金・恩給	それ以外の所得	1975	56.0	9.6	26.2	8.2	1995	29.1	7.0	58.7	5.2	2015	21.1	7.4	65.4	6.1	2017	25.4	8.0	61.1	5.5	<p>③ 高齢者世帯の所得の種類別割合</p> <table border="1"> <caption>高齢者世帯の所得の種類別割合 (%)</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>稼働所得</th> <th>財産所得</th> <th>公的年金・恩給</th> <th>それ以外の所得</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1975</td> <td>56.0</td> <td>9.6</td> <td>26.2</td> <td>8.2</td> </tr> <tr> <td>1995</td> <td>24.8</td> <td>7.9</td> <td>62.7</td> <td>4.6</td> </tr> <tr> <td>2015</td> <td>21.1</td> <td>7.4</td> <td>65.4</td> <td>6.1</td> </tr> <tr> <td>2018</td> <td>23.0</td> <td>6.5</td> <td>63.6</td> <td>6.9</td> </tr> </tbody> </table> <p>(厚生労働省「国民生活基礎調査」)</p>	年	稼働所得	財産所得	公的年金・恩給	それ以外の所得	1975	56.0	9.6	26.2	8.2	1995	24.8	7.9	62.7	4.6	2015	21.1	7.4	65.4	6.1	2018	23.0	6.5	63.6	6.9																										
年	稼働所得	財産所得	公的年金・恩給	それ以外の所得																																																																											
1975	56.0	9.6	26.2	8.2																																																																											
1995	29.1	7.0	58.7	5.2																																																																											
2015	21.1	7.4	65.4	6.1																																																																											
2017	25.4	8.0	61.1	5.5																																																																											
年	稼働所得	財産所得	公的年金・恩給	それ以外の所得																																																																											
1975	56.0	9.6	26.2	8.2																																																																											
1995	24.8	7.9	62.7	4.6																																																																											
2015	21.1	7.4	65.4	6.1																																																																											
2018	23.0	6.5	63.6	6.9																																																																											
68	②	<p>② 介護者の年齢別内訳 (%)</p> <table border="1"> <caption>介護者の年齢別内訳 (%)</caption> <thead> <tr> <th>性別</th> <th>40歳未満</th> <th>40~49歳</th> <th>50~59歳</th> <th>60~69歳</th> <th>70~79歳</th> <th>80歳以上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男</td> <td>1.7</td> <td>6.9</td> <td>21.3</td> <td>28.5</td> <td>16.9</td> <td>24.7</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td>1.8</td> <td>7.0</td> <td>21.2</td> <td>33.1</td> <td>25.1</td> <td>11.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 不詳を除く。 (厚生労働省「平成28(2016)年国民生活基礎調査」)</p>	性別	40歳未満	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳以上	男	1.7	6.9	21.3	28.5	16.9	24.7	女	1.8	7.0	21.2	33.1	25.1	11.8	<p>② 同居の主な介護者の年齢別内訳 (%)</p> <table border="1"> <caption>同居の主な介護者の年齢別内訳 (%)</caption> <thead> <tr> <th>性別</th> <th>40歳未満</th> <th>40~49歳</th> <th>50~59歳</th> <th>60~69歳</th> <th>70~79歳</th> <th>80歳以上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男</td> <td>2.5</td> <td>6.2</td> <td>18.8</td> <td>28.6</td> <td>21.1</td> <td>22.8</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td>0.9</td> <td>5.3</td> <td>20.1</td> <td>31.7</td> <td>29.4</td> <td>12.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 不詳を除く。 (厚生労働省「令和元(2019)年国民生活基礎調査」)</p>	性別	40歳未満	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳以上	男	2.5	6.2	18.8	28.6	21.1	22.8	女	0.9	5.3	20.1	31.7	29.4	12.6																																		
性別	40歳未満	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳以上																																																																									
男	1.7	6.9	21.3	28.5	16.9	24.7																																																																									
女	1.8	7.0	21.2	33.1	25.1	11.8																																																																									
性別	40歳未満	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳以上																																																																									
男	2.5	6.2	18.8	28.6	21.1	22.8																																																																									
女	0.9	5.3	20.1	31.7	29.4	12.6																																																																									
69	③	<p>③ 要介護者などから見た主な介護者の続柄 (%)</p> <table border="1"> <caption>要介護者などから見た主な介護者の続柄 (%)</caption> <thead> <tr> <th>続柄</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>夫</td><td>9.2</td></tr> <tr><td>配偶者</td><td>25.2</td></tr> <tr><td>妻</td><td>16.0</td></tr> <tr><td>同居の親族</td><td>58.6</td></tr> <tr><td>息子</td><td>10.1</td></tr> <tr><td>娘</td><td>11.7</td></tr> <tr><td>子</td><td>21.8</td></tr> <tr><td>息子の配偶者</td><td>9.5</td></tr> <tr><td>子の配偶者</td><td>9.7</td></tr> <tr><td>娘の配偶者</td><td>0.2</td></tr> <tr><td>事業者</td><td>13.0</td></tr> <tr><td>別居の家族等</td><td>12.2</td></tr> <tr><td>女性</td><td>1.4</td></tr> <tr><td>男性</td><td>0.5</td></tr> <tr><td>その他の親族</td><td>1.9</td></tr> <tr><td>その他</td><td>1.0</td></tr> <tr><td>不詳</td><td>15.2</td></tr> </tbody> </table> <p>(厚生労働省「平成28(2016)年国民生活基礎調査」)</p>	続柄	割合 (%)	夫	9.2	配偶者	25.2	妻	16.0	同居の親族	58.6	息子	10.1	娘	11.7	子	21.8	息子の配偶者	9.5	子の配偶者	9.7	娘の配偶者	0.2	事業者	13.0	別居の家族等	12.2	女性	1.4	男性	0.5	その他の親族	1.9	その他	1.0	不詳	15.2	<p>③ 要介護者などから見た主な介護者の続柄 (%)</p> <table border="1"> <caption>要介護者などから見た主な介護者の続柄 (%)</caption> <thead> <tr> <th>続柄</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>夫</td><td>8.5</td></tr> <tr><td>配偶者</td><td>23.8</td></tr> <tr><td>妻</td><td>15.3</td></tr> <tr><td>同居の親族</td><td>54.4</td></tr> <tr><td>息子</td><td>9.7</td></tr> <tr><td>娘</td><td>11.1</td></tr> <tr><td>子</td><td>20.8</td></tr> <tr><td>息子の配偶者</td><td>7.2</td></tr> <tr><td>子の配偶者</td><td>7.5</td></tr> <tr><td>娘の配偶者</td><td>0.3</td></tr> <tr><td>事業者</td><td>12.1</td></tr> <tr><td>別居の家族等</td><td>13.6</td></tr> <tr><td>女性</td><td>1.1</td></tr> <tr><td>男性</td><td>0.6</td></tr> <tr><td>母</td><td>0.6</td></tr> <tr><td>その他の親族</td><td>1.7</td></tr> <tr><td>父母</td><td>0.6</td></tr> <tr><td>その他</td><td>0.3</td></tr> <tr><td>不詳</td><td>19.6</td></tr> </tbody> </table> <p>(厚生労働省「令和元(2019)年国民生活基礎調査」)</p>	続柄	割合 (%)	夫	8.5	配偶者	23.8	妻	15.3	同居の親族	54.4	息子	9.7	娘	11.1	子	20.8	息子の配偶者	7.2	子の配偶者	7.5	娘の配偶者	0.3	事業者	12.1	別居の家族等	13.6	女性	1.1	男性	0.6	母	0.6	その他の親族	1.7	父母	0.6	その他	0.3	不詳	19.6
続柄	割合 (%)																																																																														
夫	9.2																																																																														
配偶者	25.2																																																																														
妻	16.0																																																																														
同居の親族	58.6																																																																														
息子	10.1																																																																														
娘	11.7																																																																														
子	21.8																																																																														
息子の配偶者	9.5																																																																														
子の配偶者	9.7																																																																														
娘の配偶者	0.2																																																																														
事業者	13.0																																																																														
別居の家族等	12.2																																																																														
女性	1.4																																																																														
男性	0.5																																																																														
その他の親族	1.9																																																																														
その他	1.0																																																																														
不詳	15.2																																																																														
続柄	割合 (%)																																																																														
夫	8.5																																																																														
配偶者	23.8																																																																														
妻	15.3																																																																														
同居の親族	54.4																																																																														
息子	9.7																																																																														
娘	11.1																																																																														
子	20.8																																																																														
息子の配偶者	7.2																																																																														
子の配偶者	7.5																																																																														
娘の配偶者	0.3																																																																														
事業者	12.1																																																																														
別居の家族等	13.6																																																																														
女性	1.1																																																																														
男性	0.6																																																																														
母	0.6																																																																														
その他の親族	1.7																																																																														
父母	0.6																																																																														
その他	0.3																																																																														
不詳	19.6																																																																														




訂正箇所		原 文	訂 正 文
ページ	行		
83	⑥	<p>⑥ PFC供給熱量比率の推移 (日本のPFCバランスの推移)</p> <p>PFCが適正比率の場合、円周上の点となり、結ぶと正三角形になる。 (農林水産省「食料需給表」、FAO「Food Balance Sheets」等を基に農林水産省で試算)</p> <p style="color: red;">削除</p>	<p>⑥ PFC供給熱量比率の推移 (日本のPFCバランスの推移)</p> <p>PFCが適正比率の場合、円周上の点となり、結ぶと正三角形になる。 (農林水産省「食料需給表」)</p>
85	④	<p>④ 食物繊維を多く含む食品 (1人1回で食べる量あたり)</p> <p>(文部科学省「日本食品標準成分表2015年版(七訂)」より作成)</p>	<p>④ 食物繊維を多く含む食品 (1人1回で食べる量あたり)</p> <p>(文部科学省「日本食品標準成分表2020年版(八訂)」より作成)</p>
86	③	<p>*無機質、ビタミンなど</p>	<p>*無機質、ビタミンなど</p>

訂正箇所		原 文	訂 正 文																																								
ページ	行																																										
87	⑨	<p>⑨ いも類の種類と特徴 (可食部100gあたり)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>特徴と特殊成分</th> <th>炭水化物(g)</th> <th>ビタミンC(mg)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>じゃがいも</td> <td>カリウムやビタミンCが比較的多い。芽の部分や緑色になった皮にはソラニンという有毒物質が含まれるので、調理の際に取り除く。</td> <td>17.6</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>さつまいも</td> <td>糖質が比較的多く、甘みがある。加熱すると甘みを増す。食物繊維が多く、便秘予防効果のあるヤラピンを含む。</td> <td>31.9</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>さといも</td> <td>ぬめりの成分は、多糖類(ガラクトマンナン)とたんぱく質が結合した糖たんぱく質である。</td> <td>13.1</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>やまのいも</td> <td>アミラーゼを多く含むので、生で食べても消化がよい。粘性物質は糖たんぱく質である。 *じねんじよの値。</td> <td>26.7*</td> <td>15*</td> </tr> </tbody> </table> <p>(4)⑨：文部科学省「日本食品標準成分表2015年版(七訂)」より作成</p>	種類	特徴と特殊成分	炭水化物(g)	ビタミンC(mg)	じゃがいも	カリウムやビタミンCが比較的多い。芽の部分や緑色になった皮にはソラニンという有毒物質が含まれるので、調理の際に取り除く。	17.6	35	さつまいも	糖質が比較的多く、甘みがある。加熱すると甘みを増す。食物繊維が多く、便秘予防効果のあるヤラピンを含む。	31.9	29	さといも	ぬめりの成分は、多糖類(ガラクトマンナン)とたんぱく質が結合した糖たんぱく質である。	13.1	6	やまのいも	アミラーゼを多く含むので、生で食べても消化がよい。粘性物質は糖たんぱく質である。 *じねんじよの値。	26.7*	15*	<p>⑨ いも類の種類と特徴 (可食部100gあたり)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>特徴と特殊成分</th> <th>炭水化物(g)</th> <th>ビタミンC(mg)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>じゃがいも</td> <td>カリウムやビタミンCが比較的多い。芽の部分や緑色になった皮にはソラニンという有毒物質が含まれるので、調理の際に取り除く。</td> <td>17.3</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>さつまいも</td> <td>糖質が比較的多く、甘みがある。加熱すると甘みを増す。食物繊維が多く、便秘予防効果のあるヤラピンを含む。</td> <td>31.9</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>さといも</td> <td>ぬめりの成分は、多糖類(ガラクトマンナン)とたんぱく質が結合した糖たんぱく質である。</td> <td>13.1</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>やまのいも</td> <td>アミラーゼを多く含むので、生で食べても消化がよい。粘性物質は糖たんぱく質である。 *じねんじよの値。</td> <td>26.7*</td> <td>15*</td> </tr> </tbody> </table> <p>(4)⑨：文部科学省「日本食品標準成分表2020年版(八訂)」 「日本食品標準成分表2020年版(八訂)炭水化物成分表編」より作成</p>	種類	特徴と特殊成分	炭水化物(g)	ビタミンC(mg)	じゃがいも	カリウムやビタミンCが比較的多い。芽の部分や緑色になった皮にはソラニンという有毒物質が含まれるので、調理の際に取り除く。	17.3	28	さつまいも	糖質が比較的多く、甘みがある。加熱すると甘みを増す。食物繊維が多く、便秘予防効果のあるヤラピンを含む。	31.9	29	さといも	ぬめりの成分は、多糖類(ガラクトマンナン)とたんぱく質が結合した糖たんぱく質である。	13.1	6	やまのいも	アミラーゼを多く含むので、生で食べても消化がよい。粘性物質は糖たんぱく質である。 *じねんじよの値。	26.7*	15*
種類	特徴と特殊成分	炭水化物(g)	ビタミンC(mg)																																								
じゃがいも	カリウムやビタミンCが比較的多い。芽の部分や緑色になった皮にはソラニンという有毒物質が含まれるので、調理の際に取り除く。	17.6	35																																								
さつまいも	糖質が比較的多く、甘みがある。加熱すると甘みを増す。食物繊維が多く、便秘予防効果のあるヤラピンを含む。	31.9	29																																								
さといも	ぬめりの成分は、多糖類(ガラクトマンナン)とたんぱく質が結合した糖たんぱく質である。	13.1	6																																								
やまのいも	アミラーゼを多く含むので、生で食べても消化がよい。粘性物質は糖たんぱく質である。 *じねんじよの値。	26.7*	15*																																								
種類	特徴と特殊成分	炭水化物(g)	ビタミンC(mg)																																								
じゃがいも	カリウムやビタミンCが比較的多い。芽の部分や緑色になった皮にはソラニンという有毒物質が含まれるので、調理の際に取り除く。	17.3	28																																								
さつまいも	糖質が比較的多く、甘みがある。加熱すると甘みを増す。食物繊維が多く、便秘予防効果のあるヤラピンを含む。	31.9	29																																								
さといも	ぬめりの成分は、多糖類(ガラクトマンナン)とたんぱく質が結合した糖たんぱく質である。	13.1	6																																								
やまのいも	アミラーゼを多く含むので、生で食べても消化がよい。粘性物質は糖たんぱく質である。 *じねんじよの値。	26.7*	15*																																								
89	⑤	<p>⑤ 食品のたんぱく質含有量 (可食部100gあたり)</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>精白米(うるち米)</td> <td>6.1g</td> </tr> <tr> <td>大豆(ゆで)</td> <td>14.8g</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">食肉(生)</td> <td>牛サーロイン</td> <td>17.4g</td> </tr> <tr> <td>とりささ身</td> <td>23.0g</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">魚介(生)</td> <td>あじ</td> <td>19.7g</td> </tr> <tr> <td>するめいか</td> <td>17.9g</td> </tr> </tbody> </table> <p>(文部科学省「日本食品標準成分表2015年版(七訂)」より作成)</p>	精白米(うるち米)	6.1g	大豆(ゆで)	14.8g	食肉(生)	牛サーロイン	17.4g	とりささ身	23.0g	魚介(生)	あじ	19.7g	するめいか	17.9g	<p>⑤ 食品のたんぱく質含有量 (可食部100gあたり)</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>精白米(うるち米)</td> <td>6.1g</td> </tr> <tr> <td>大豆(ゆで)</td> <td>14.8g</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">食肉(生)</td> <td>牛サーロイン</td> <td>11.7g</td> </tr> <tr> <td>とりささみ</td> <td>23.9g</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">魚介(生)</td> <td>あじ</td> <td>19.7g</td> </tr> <tr> <td>するめいか</td> <td>17.9g</td> </tr> </tbody> </table> <p>(文部科学省「日本食品標準成分表2020年版(八訂)」より作成)</p>	精白米(うるち米)	6.1g	大豆(ゆで)	14.8g	食肉(生)	牛サーロイン	11.7g	とりささみ	23.9g	魚介(生)	あじ	19.7g	するめいか	17.9g												
精白米(うるち米)	6.1g																																										
大豆(ゆで)	14.8g																																										
食肉(生)	牛サーロイン	17.4g																																									
	とりささ身	23.0g																																									
魚介(生)	あじ	19.7g																																									
	するめいか	17.9g																																									
精白米(うるち米)	6.1g																																										
大豆(ゆで)	14.8g																																										
食肉(生)	牛サーロイン	11.7g																																									
	とりささみ	23.9g																																									
魚介(生)	あじ	19.7g																																									
	するめいか	17.9g																																									

89	⑥	<p>食パンの場合</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr style="background-color: #c8e6c9;"> <th>必須アミノ酸</th> <th>アミノ酸評点パターン (2007)成人(A)</th> <th>食パンの*1 アミノ酸(B)</th> <th>$\frac{(B)}{(A)} \times 100$</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>イソロイシン</td> <td>30mg/gたんぱく質</td> <td>42mg/gたんぱく質</td> <td>140</td> </tr> <tr> <td>ロイシン</td> <td>59</td> <td>80</td> <td>136</td> </tr> <tr style="color: red;"> <td>リシン</td> <td>45</td> <td>23</td> <td>51*2</td> </tr> <tr> <td>含硫アミノ酸*3</td> <td>22</td> <td>43</td> <td>195</td> </tr> <tr> <td>芳香族アミノ酸*4</td> <td>38</td> <td>96</td> <td>253</td> </tr> <tr> <td>トレオニン</td> <td>23</td> <td>32</td> <td>139</td> </tr> <tr> <td>トリプトファン</td> <td>6</td> <td>13</td> <td>217</td> </tr> <tr> <td>バリン</td> <td>39</td> <td>48</td> <td>123</td> </tr> <tr> <td>ヒスチジン</td> <td>15</td> <td>27</td> <td>180</td> </tr> </tbody> </table>  <p>*1 文部科学省「日本食品標準成分表2015年版(七訂)アミノ酸成分表編第3表 アミノ酸組成によるたんぱく質1g当たりのアミノ酸成分表」の値に基づく。 *2 リシンが第一制限アミノ酸で、食パンのアミノ酸価は51となる。 *3 含硫アミノ酸：メチオニン+シスチン *4 芳香族アミノ酸：フェニルアラニン+チロシン</p>	必須アミノ酸	アミノ酸評点パターン (2007)成人(A)	食パンの*1 アミノ酸(B)	$\frac{(B)}{(A)} \times 100$	イソロイシン	30mg/gたんぱく質	42mg/gたんぱく質	140	ロイシン	59	80	136	リシン	45	23	51*2	含硫アミノ酸*3	22	43	195	芳香族アミノ酸*4	38	96	253	トレオニン	23	32	139	トリプトファン	6	13	217	バリン	39	48	123	ヒスチジン	15	27	180	<p>食パンの場合</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr style="background-color: #c8e6c9;"> <th>必須アミノ酸</th> <th>アミノ酸評点パターン (2007)成人(A)</th> <th>食パンの*1 アミノ酸(B)</th> <th>$\frac{(B)}{(A)} \times 100$</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>イソロイシン</td> <td>30mg/gたんぱく質</td> <td>42mg/gたんぱく質</td> <td>140</td> </tr> <tr> <td>ロイシン</td> <td>59</td> <td>81</td> <td>137</td> </tr> <tr style="color: red;"> <td>リシン</td> <td>45</td> <td>23</td> <td>51*2</td> </tr> <tr> <td>含硫アミノ酸*3</td> <td>22</td> <td>42</td> <td>191</td> </tr> <tr> <td>芳香族アミノ酸*4</td> <td>38</td> <td>96</td> <td>253</td> </tr> <tr> <td>トレオニン</td> <td>23</td> <td>33</td> <td>143</td> </tr> <tr> <td>トリプトファン</td> <td>6</td> <td>12</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>バリン</td> <td>39</td> <td>48</td> <td>123</td> </tr> <tr> <td>ヒスチジン</td> <td>15</td> <td>27</td> <td>180</td> </tr> </tbody> </table>  <p>*1 文部科学省「日本食品標準成分表2020年版(八訂)アミノ酸成分表編第3表 アミノ酸組成によるたんぱく質1g当たりのアミノ酸成分表」の値に基づく。 *2 リシンが第一制限アミノ酸で、食パンのアミノ酸価は51となる。 *3 含硫アミノ酸：メチオニン+シスチン *4 芳香族アミノ酸：フェニルアラニン+チロシン</p>	必須アミノ酸	アミノ酸評点パターン (2007)成人(A)	食パンの*1 アミノ酸(B)	$\frac{(B)}{(A)} \times 100$	イソロイシン	30mg/gたんぱく質	42mg/gたんぱく質	140	ロイシン	59	81	137	リシン	45	23	51*2	含硫アミノ酸*3	22	42	191	芳香族アミノ酸*4	38	96	253	トレオニン	23	33	143	トリプトファン	6	12	200	バリン	39	48	123	ヒスチジン	15	27	180
必須アミノ酸	アミノ酸評点パターン (2007)成人(A)	食パンの*1 アミノ酸(B)	$\frac{(B)}{(A)} \times 100$																																																																																
イソロイシン	30mg/gたんぱく質	42mg/gたんぱく質	140																																																																																
ロイシン	59	80	136																																																																																
リシン	45	23	51*2																																																																																
含硫アミノ酸*3	22	43	195																																																																																
芳香族アミノ酸*4	38	96	253																																																																																
トレオニン	23	32	139																																																																																
トリプトファン	6	13	217																																																																																
バリン	39	48	123																																																																																
ヒスチジン	15	27	180																																																																																
必須アミノ酸	アミノ酸評点パターン (2007)成人(A)	食パンの*1 アミノ酸(B)	$\frac{(B)}{(A)} \times 100$																																																																																
イソロイシン	30mg/gたんぱく質	42mg/gたんぱく質	140																																																																																
ロイシン	59	81	137																																																																																
リシン	45	23	51*2																																																																																
含硫アミノ酸*3	22	42	191																																																																																
芳香族アミノ酸*4	38	96	253																																																																																
トレオニン	23	33	143																																																																																
トリプトファン	6	12	200																																																																																
バリン	39	48	123																																																																																
ヒスチジン	15	27	180																																																																																

92	①	<p>① 調理によるビタミンCの損失</p>  <p>(文部科学省「日本食品標準成分表2015年版(七訂)」より作成)</p>	<p>① 調理によるビタミンCの損失</p>  <p>(文部科学省「日本食品標準成分表2020年版(八訂)」より作成)</p>
----	---	--	--

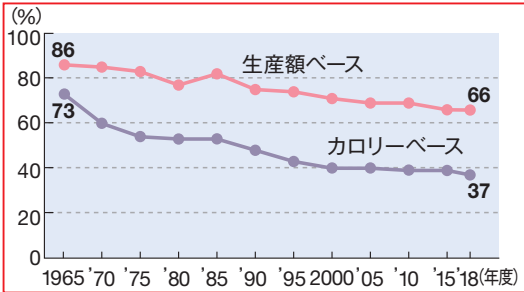
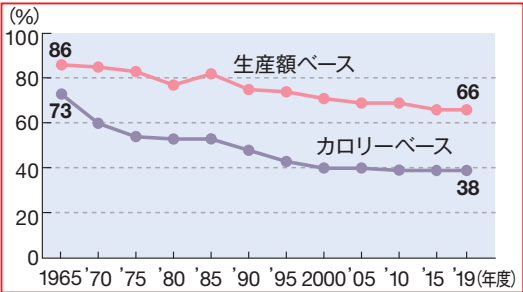
訂正箇所		原 文	訂 正 文
ページ	行		
110	左上	<p>栄養価 </p> <p>エネルギー 607kcal たんぱく質 25.2g 脂質 16.5g 炭水化物 86.6g 食塩相当量 2.7g</p>	<p>栄養価 </p> <p>エネルギー 571kcal たんぱく質 25.5g 脂質 16.7g 炭水化物 85.9g 食塩相当量 2.7g</p>
110	左中	<p>けんちん汁  86kcal  2.8g  5.1g  7.6g  1.1g</p>	<p>けんちん汁  83kcal  3.1g  5.3g  7.6g  1.1g</p>
110	左下	<p>牛丼  521kcal  22.4g  11.4g  79.0g  1.6g</p>	<p>牛丼  488kcal  22.4g  11.4g  78.3g  1.6g</p>
110	右下	<p>豚肉とこまつなの丼</p> <p> 647kcal  22.9g  24.1g</p> <p> 79.1g  2.2g</p>	<p>豚肉とこまつなの丼</p> <p> 610kcal  22.9g  24.2g</p> <p> 78.8g  2.2g</p>

訂正箇所		原 文	訂 正 文
ページ	行		
111	左上	<p>栄養価 </p> <p>エネルギー <u>787</u>kcal たんぱく質 <u>32.5</u>g 脂質 <u>29.9</u>g 炭水化物 <u>91.8</u>g 食塩相当量 <u>3.1</u>g</p>	<p>栄養価 </p> <p>エネルギー <u>727</u>kcal たんぱく質 <u>33.6</u>g 脂質 <u>29.9</u>g 炭水化物 <u>90.8</u>g 食塩相当量 <u>3.5</u>g</p>
111	左中	<p>なすとミートソースのパスタ  <u>747</u>kcal  <u>31.3</u>g  <u>28.0</u>g  <u>86.7</u>g  <u>2.4</u>g</p>	<p>なすとミートソースのパスタ  <u>687</u>kcal  <u>32.0</u>g  <u>27.9</u>g  <u>85.8</u>g  <u>2.8</u>g</p>
111	左下	<p>キャベツのスープ  <u>39</u>kcal  <u>1.2</u>g  <u>1.9</u>g  <u>5.0</u>g  <u>0.7</u>g</p>	<p>キャベツのスープ  <u>40</u>kcal  <u>1.6</u>g  <u>2.0</u>g  <u>5.0</u>g  <u>0.7</u>g</p>
112	左上	<p>栄養価 </p> <p>エネルギー <u>687</u>kcal たんぱく質 <u>21.2</u>g 脂質 <u>23.6</u>g 炭水化物 <u>89.1</u>g 食塩相当量 <u>3.0</u>g</p>	<p>栄養価 </p> <p>エネルギー <u>632</u>kcal たんぱく質 <u>20.7</u>g 脂質 <u>23.7</u>g 炭水化物 <u>88.7</u>g 食塩相当量 <u>3.0</u>g</p>

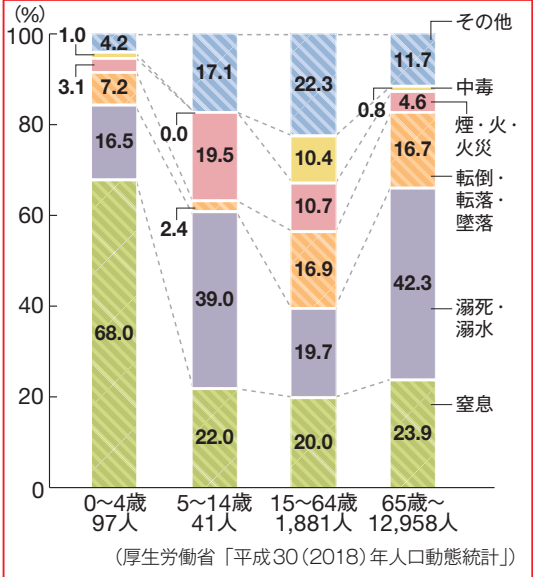
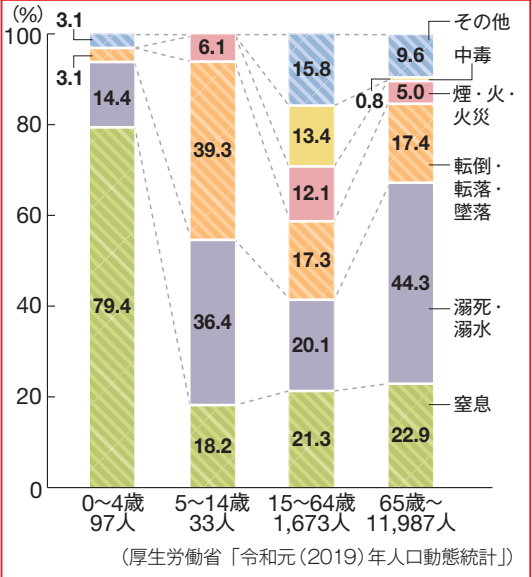
訂正箇所		原文	訂正文
ページ	行		
112	左中	さけ炒飯  551kcal  16.5g  18.2g  75.4g  2.1g	さけ炒飯  515kcal  16.5g  18.2g  75.3g  2.1g
112	左下	中華風コンスープ  136kcal  4.7g  5.4g  13.7g  0.9g	中華風コンスープ  117kcal  4.2g  5.5g  13.4g  0.9g
113	左上	 <p>栄養価</p> <p>エネルギー <u>827</u>kcal たんぱく質 <u>30.9</u>g 脂質 <u>31.1</u>g 炭水化物 <u>100.6</u>g 食塩相当量 <u>1.9</u>g</p>	 <p>栄養価</p> <p>エネルギー <u>779</u>kcal たんぱく質 <u>31.0</u>g 脂質 <u>30.9</u>g 炭水化物 <u>101.1</u>g 食塩相当量 <u>1.4</u>g</p>
113	左中	卵焼き  93kcal  6.2g  6.2g  2.2g  0.5g	卵焼き  88kcal  6.2g  6.1g  2.3g  0.3g
113	左下	豚肉の野菜巻き  242kcal  16.3g  17.8g  2.6g  0.5g	豚肉の野菜巻き  231kcal  16.3g  17.8g  2.6g  0.5g
114	左上	 <p>栄養価*</p> <p>エネルギー <u>546</u>kcal たんぱく質 <u>22.4</u>g 脂質 <u>19.5</u>g 炭水化物 <u>65.1</u>g 食塩相当量 <u>3.1</u>g</p> <p>*米飯120gを含む。</p>	 <p>栄養価*</p> <p>エネルギー <u>515</u>kcal たんぱく質 <u>22.4</u>g 脂質 <u>19.8</u>g 炭水化物 <u>65.0</u>g 食塩相当量 <u>3.1</u>g</p> <p>*米飯120gを含む。</p>

訂正箇所		原 文	訂 正 文
ページ	行		
114	左中	<p>さけの鍋照り焼き エ 264kcal た 16.6g 脂 16.9g 炭 6.8g 塩 1.3g</p>	<p>さけの鍋照り焼き エ 248kcal た 16.6g 脂 17.2g 炭 6.7g 塩 1.4g</p>
114	左下	<p>きゅうりの酢の物 エ 11kcal た 0.3g 脂 0.0g 炭 2.4g 塩 0.3g</p>	<p>きゅうりの酢の物 エ 11kcal た 0.3g 脂 0.0g 炭 2.5g 塩 0.3g</p>
115	左上	<p>ブラウニー エ 140kcal た 2.4g 脂 9.1g 炭 12.3g 塩 0.1g(1切れあたり)</p>	<p>ブラウニー エ 138kcal た 2.4g 脂 9.1g 炭 12.4g 塩 0.1g(1切れあたり)</p>
115	左下	<p>どらやき エ 222kcal た 5.1g 脂 2.3g 炭 44.6g 塩 0.1g(1個あたり)</p>	<p>どらやき エ 218kcal た 5.1g 脂 2.3g 炭 44.7g 塩 0.2g(1個あたり)</p>
115	右下	<p>牛奶豆腐 エ 121kcal た 1.3g 脂 1.1g 炭 27.6g 塩 0.0g</p>	<p>牛奶豆腐 エ 122kcal た 1.3g 脂 1.3g 炭 27.8g 塩 0.0g</p>

訂正箇所		原文	訂正文
ページ	行		
116	左上	工 177kcal た 6.0g 脂 12.8g 炭 8.6g 塩 1.2g	工 175kcal た 6.1g 脂 13.0g 炭 8.9g 塩 1.2g
116	左下	工 52kcal た 1.8g 脂 4.3g 炭 2.8g 塩 0.4g	工 51kcal た 1.8g 脂 4.3g 炭 2.8g 塩 0.4g
116	右下	工 61kcal た 1.6g 脂 0.1g 炭 14.0g 塩 0.7g	工 85kcal た 1.8g 脂 0.4g 炭 21.8g 塩 0.7g
117	左上	工 74kcal た 1.2g 脂 4.2g 炭 8.6g 塩 1.0g	工 73kcal た 1.2g 脂 4.2g 炭 8.5g 塩 1.0g
117	右上	工 125kcal た 8.0g 脂 7.4g 炭 6.7g 塩 1.1g	工 118kcal た 8.0g 脂 7.4g 炭 6.7g 塩 1.1g
117	左下	工 165kcal た 4.6g 脂 10.2g 炭 13.4g 塩 0.3g	工 154kcal た 4.6g 脂 10.2g 炭 13.4g 塩 0.3g

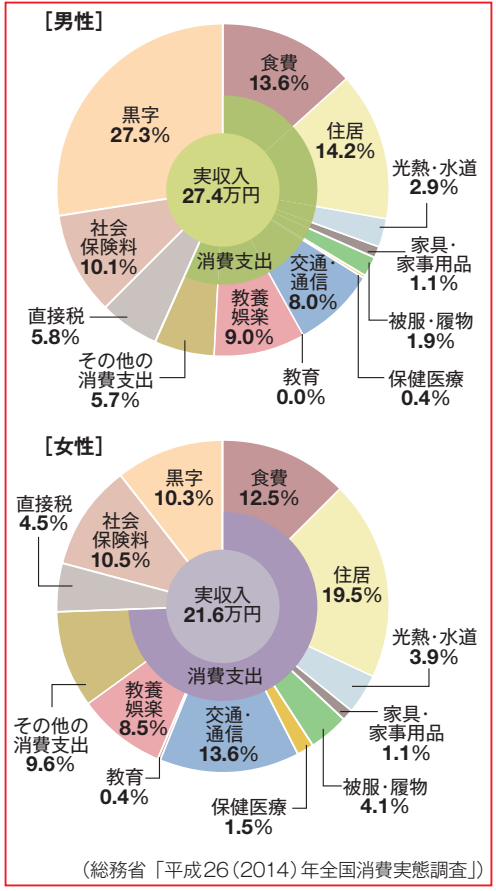
訂正箇所		原文	訂正文
ページ	行		
118	6-7	我が国の ^① 食料自給率は、1965年度の73%から2018年度には37%まで減少しており、先進諸国の中で最も低い。食料自給率	我が国の ^① 食料自給率は、1965年度の73%から2019年度には38%まで減少しており、先進諸国の中で最も低い。食料自給率
118	①	<p>① 我が国の食料自給率</p>  <p>(農林水産省「食料需給表」)</p>	<p>① 我が国の食料自給率</p>  <p>(農林水産省「食料需給表」)</p>

訂正箇所		原 文	訂 正 文
ページ	行		
118	22,23, 26	我が国は、食料自給率が低いにもかかわらず、年間約2,550万トン（2017年推計）の「食品由来の廃棄物等」があり、そのうち、食べられるのに廃棄されている食品を食品ロスという。日本の食品ロスは、食品関連事業者の方が一般家庭よりやや多く、年間約610万トンであり、世界全体の食料援助量の約2倍にあたる。現	我が国は、食料自給率が低いにもかかわらず、年間約2,531万トン（2018年推計）の「食品由来の廃棄物等」があり、そのうち、食べられるのに廃棄されている食品を食品ロスという。日本の食品ロスは、食品関連事業者の方が一般家庭よりやや多く、年間約600万トンであり、世界全体の食料援助量の約1.5倍にあたる。
118	②	<p>② 食品廃棄物などの利用状況など</p> <p> ■ 全体 ■ 業者 ■ 家庭 </p> <p>*食品リサイクル法における減量、再生利用量、熱回収の数値を示す。 (農林水産省「食品ロスの現状(2017年度推計値)」より作成)</p>	<p>② 食品廃棄物などの利用状況など</p> <p> ■ 全体 ■ 業者 ■ 家庭 </p> <p>*食品リサイクル法における減量、再生利用量、熱回収の数値を示す。 (農林水産省「食品ロスの現状(2018年度推計値)」より作成)</p>
120	31-32	行している。2020年2月現在、食品関連の「CFP宣言認定製品（現在公開数）」は全体の13%（約100製品）と少なく、算出にかかる手間と経費に対して効果の低さが課題となっている。	行している。2021年9月現在、食品関連の「CFP宣言認定製品（現在公開数）」は全体の12%（約100製品）と少なく、算出にかかる手間と経費に対して効果の低さが課題となっている。

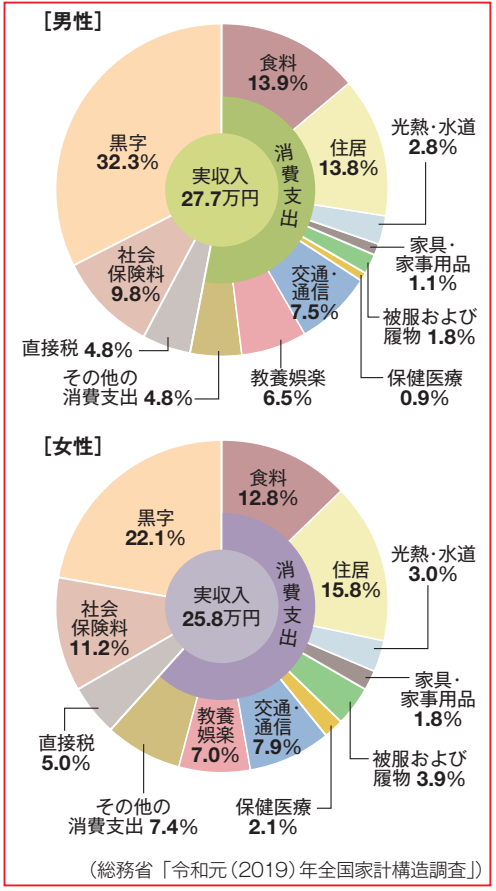
訂正箇所		原 文	訂 正 文
ページ	行		
121	17-19	<p>指導の充実が図られている。2016年3月には、過去の食育に関する取り組みの成果と課題を踏まえた第3次食育推進基本計画が決定され、2020年度までの5年間に取り組むべき重点課題が示</p>	<p>指導の充実が図られている。2021年3月には、過去の食育に関する取り組みの成果と課題を踏まえた第4次食育推進基本計画が決定され、2025年度までの5年間に取り組むべき重点課題が示</p>
159	④	<p>④ 家庭内における不慮の事故死者</p>  <p>(厚生労働省「平成30(2018)年人口動態統計」)</p>	<p>④ 家庭内における不慮の事故死者</p>  <p>(厚生労働省「令和元(2019)年人口動態統計」)</p>

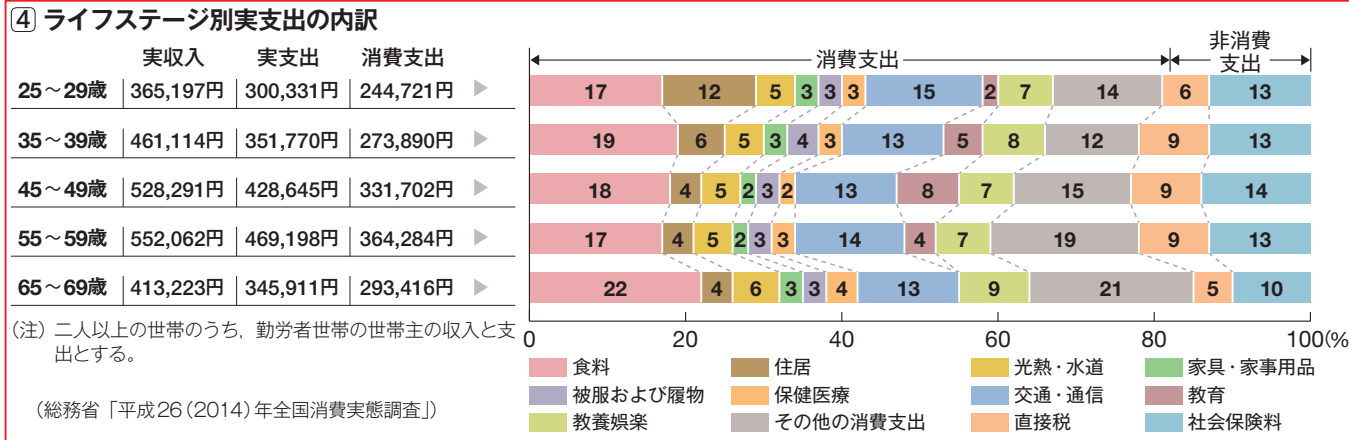
172	①		
-----	---	--	--

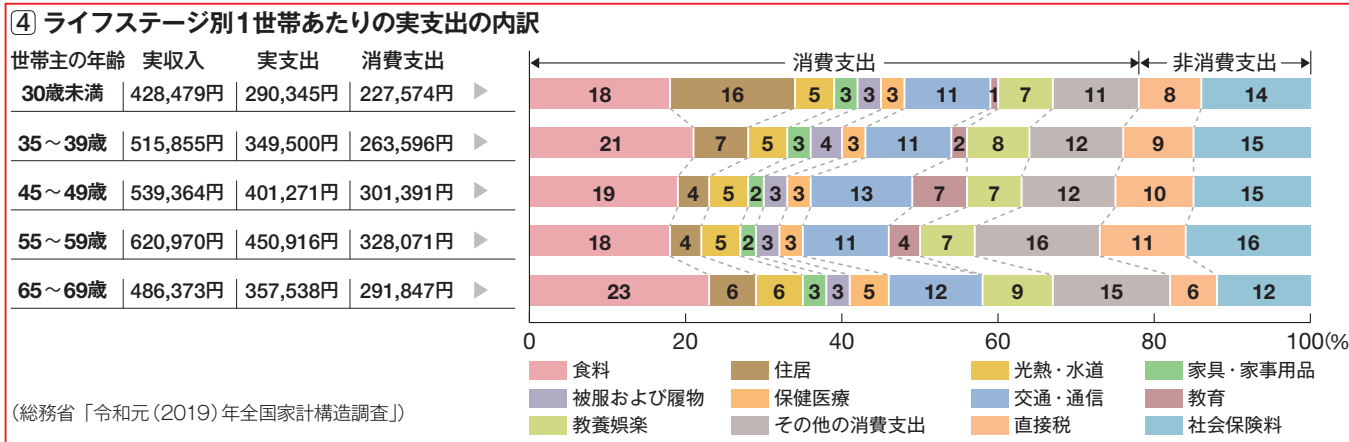
① 30歳未満单身男女の支出内訳



① 30歳未満单身男女の支出内訳














訂正箇所		原文	訂正文
ページ	行		
179	②	<p>② 未成年者による契約で取消ができない場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 法定代理人から同意を得ている。 ● 成年であると年齢を偽るなどして契約している。 ● <u>結婚している(結婚すると成年者として扱われる)</u>。 <small>削除</small> ● 小遣いの範囲内である。 <small>など</small> 	<p>② 未成年者による契約で取消ができない場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 法定代理人から同意を得ている。 ● 成年であると年齢を偽るなどして契約している。 ● 小遣いの範囲内である。 <small>など</small>
179	TRY	(国民生活センター「2020年版 暮らしの豆知識」より作成)	(国民生活センター「2021年版 暮らしの豆知識」より作成)
182	③	<p>ネガティブオプション</p> <p>商品を勝手に送りつけ、代金を請求する。代金引換郵便を悪用することもある。代金を支払う義務はなく、<u>14日間保管後</u>、自由に処分できる。雑誌、単行本、パソコン関連商品。</p>	<p>ネガティブオプション</p> <p>商品を勝手に送りつけ、代金を請求する。代金引換郵便を悪用することもある。代金を支払う義務はなく、自由に処分できる。雑誌、単行本、パソコン関連商品。</p>
194	③	<p>③ 女性の年齢別出生率*</p> <p>*各年における出生を100%とした場合の、出生年齢の分布を示したもの。</p> <p>(国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集」2020年版)</p>	<p>③ 女性の年齢別出生率*</p> <p>*各年における出生を100%とした場合の、出生年齢の分布を示したもの。</p> <p>(国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集」2021年版)</p>

訂正箇所		原 文	訂 正 文
ページ	行		
197	Column	<p>さらに2018年の民法改正により、2022年 <u>4月1日からは</u>成年（成人）年齢も満20歳か ら満18歳に引き下げられる。10代は、より 主体的に社会を創造していく存在となる。</p>	<p>さらに2018年の民法改正により、成年 （成人）年齢も満20歳から満18歳に引き下 げられた（<u>2022年4月1日施行</u>）。10代は、よ り主体的に社会を創造していく存在となる。</p>
200- 207		別紙1-4	別紙5-8

101	③	身体活動レベル低い(I)	年齢・性別	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女			
			12~14歳	380	380	50	50	150	120	80	80	350	350	100	100	200	200	320	280	20	20	10	10	
			15~17	320	320	50	50	150	120	80	80	350	350	100	100	200	200	370	260	25	20	10	10	
			18~29	300	250	50	50	180	100	80	80	350	350	100	100	200	200	330	220	20	15	10	10	
			30~49	250	250	50	50	150	100	80	80	350	350	100	100	200	200	330	230	20	15	10	10	
			50~64	250	250	50	50	150	100	80	80	350	350	100	100	200	200	320	210	20	15	10	10	
			65~74	250	250	50	50	120	100	80	80	350	350	100	100	200	200	300	180	15	10	10	10	
			75以上	250	200	50	50	120	80	80	80	350	350	100	100	200	200	240	170	15	10	10	5	
			妊婦初期	—	250	—	50	—	100	—	80	—	350	—	100	—	200	—	230	—	15	—	10	
			中期	—	250	—	50	—	120	—	80	—	350	—	100	—	200	—	280	—	15	—	10	
			後期	—	250	—	50	—	150	—	80	—	350	—	100	—	200	—	320	—	20	—	10	
			授乳婦	—	250	—	50	—	120	—	80	—	350	—	100	—	200	—	290	—	20	—	10	
			身体活動レベル普通(II)	1~2歳	250	250	30	30	50	50	40	40	180	180	50	50	100	100	110	100	5	5	3	3
				3~5	250	250	30	30	50	50	60	60	240	240	50	50	150	150	160	150	10	10	5	5
				6~7	250	250	50	50	80	80	60	60	270	270	60	60	150	150	210	170	10	10	10	10
		8~9		300	300	50	50	120	80	80	80	300	300	60	60	200	200	240	220	15	15	10	10	
		10~11		320	320	50	50	150	100	80	80	350	350	100	100	200	200	310	290	20	20	10	10	
		12~14		380	380	50	50	170	120	80	80	350	350	100	100	200	200	380	360	25	20	10	10	
		15~17		320	320	50	50	200	120	80	80	350	350	100	100	200	200	430	350	30	20	10	10	
		18~29		300	250	50	50	180	120	80	80	350	350	100	100	200	200	390	290	30	15	10	10	
		30~49		250	250	50	50	180	120	80	80	350	350	100	100	200	200	400	300	30	15	10	10	
		50~64		250	250	50	50	180	120	80	80	350	350	100	100	200	200	390	280	25	15	10	10	
		65~74		250	250	50	50	170	120	80	80	350	350	100	100	200	200	360	250	20	15	10	10	
		75以上		250	250	50	50	150	100	80	80	350	350	100	100	200	200	310	210	15	15	10	10	
		妊婦初期		—	250	—	50	—	120	—	80	—	350	—	100	—	200	—	300	—	15	—	10	
		中期		—	250	—	50	—	150	—	80	—	350	—	100	—	200	—	320	—	20	—	10	
		後期		—	250	—	50	—	170	—	80	—	350	—	100	—	200	—	370	—	25	—	10	
		授乳婦	—	250	—	50	—	170	—	80	—	350	—	100	—	200	—	350	—	20	—	10		
		高い(III)	15~17歳	380	320	50	50	200	170	120	80	350	350	100	100	200	200	490	380	30	20	10	10	
			18~29	380	300	50	50	200	150	120	80	350	350	100	100	200	200	470	360	30	20	10	10	
			30~49	380	250	50	50	200	150	120	80	350	350	100	100	200	200	470	360	30	20	10	10	
			50~64	320	250	50	50	200	150	120	80	350	350	100	100	200	200	470	320	25	20	10	10	
			65~74	320	250	50	50	200	120	80	80	350	350	100	100	200	200	440	310	25	15	10	10	
授乳婦	—		320	—	50	—	170	—	80	—	350	—	100	—	200	—	420	—	25	—	10			

(注) ①野菜はきのこ、海藻を含む。また、野菜の1/3以上は緑黄色野菜でとることとする。 ②エネルギー量は、「日本人の食事摂取基準[2020年版]」の参考表・推定エネルギー必要量の約93~97%の割合で構成してある。各人の必要に応じて適宜調節すること。







④ ④ 4つの食品群別摂取量の目安による食品構成 (15~17歳, 1人1日あたり, 身体活動レベル普通(II)の場合) (g)

目安 その食品群と 摂取量の	第1群		第2群		第3群			第4群		
	乳・乳製品	卵	魚介・肉	豆・豆製品	野菜	いも	果物	穀類	油脂	砂糖
	男	320	50	200	80	350	100	200	430	30
女	320	50	120	80	350	100	200	350	20	10
			魚1切れ (70~100)  豆腐1/4丁(80) 		青菜のおひたし 1皿(80) 		サラダ1皿(100) 		ご飯(茶碗)4~4.5杯 (米240~270)  砂糖 大さじ1(9) 	



	年齢・性別	男		女		男		女		男		女		男		女		男		女	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
身体活動レベル低い(I)	12~14歳	380	380	55	55	150	120	80	80	350	350	100	100	150	150	360	310	20	20	10	10
	15~17	320	320	55	55	150	120	80	80	350	350	100	100	150	150	420	300	25	20	10	10
	18~29	300	250	55	55	180	100	80	80	350	350	100	100	150	150	370	240	20	15	10	10
	30~49	250	250	55	55	150	100	80	80	350	350	100	100	150	150	370	250	20	15	10	10
	50~64	250	250	55	55	150	100	80	80	350	350	100	100	150	150	360	230	20	15	10	10
	65~74	250	250	55	55	120	100	80	80	350	350	100	100	150	150	340	200	15	10	10	10
	75以上	250	200	55	55	120	80	80	80	350	350	100	100	150	150	270	190	15	10	10	5
	妊婦初期	—	250	—	55	—	100	—	80	—	350	—	100	—	150	—	260	—	15	—	10
	中期	—	250	—	55	—	120	—	80	—	350	—	100	—	150	—	310	—	15	—	10
	後期	—	250	—	55	—	150	—	80	—	350	—	100	—	150	—	360	—	20	—	10
授乳婦	—	250	—	55	—	120	—	80	—	350	—	100	—	150	—	330	—	20	—	10	
身体活動レベル普通(II)	1~2歳	250	250	30	30	50	50	40	40	180	180	50	50	100	100	120	110	5	5	3	3
	3~5	250	250	30	30	60	60	60	60	240	240	50	50	120	120	190	170	10	10	5	5
	6~7	250	250	55	55	80	80	60	60	270	270	60	60	120	120	230	200	10	10	10	10
	8~9	300	300	55	55	120	80	80	80	300	300	60	60	150	150	270	240	15	15	10	10
	10~11	320	320	55	55	150	100	80	80	350	350	100	100	150	150	350	320	20	20	10	10
	12~14	380	380	55	55	170	120	80	80	350	350	100	100	150	150	430	390	25	20	10	10
	15~17	320	320	55	55	200	120	80	80	350	350	100	100	150	150	480	380	30	20	10	10
	18~29	300	250	55	55	180	120	80	80	350	350	100	100	150	150	440	320	30	15	10	10
	30~49	250	250	55	55	180	120	80	80	350	350	100	100	150	150	450	330	30	15	10	10
	50~64	250	250	55	55	180	120	80	80	350	350	100	100	150	150	440	300	25	15	10	10
65~74	250	250	55	55	170	120	80	80	350	350	100	100	150	150	400	280	20	15	10	10	
75以上	250	250	55	55	150	100	80	80	350	350	100	100	150	150	340	230	15	15	10	10	
妊婦初期	—	250	—	55	—	120	—	80	—	350	—	100	—	150	—	340	—	15	—	10	
中期	—	250	—	55	—	150	—	80	—	350	—	100	—	150	—	360	—	20	—	10	
後期	—	250	—	55	—	180	—	80	—	350	—	100	—	150	—	420	—	25	—	10	
授乳婦	—	320	—	55	—	180	—	80	—	350	—	100	—	150	—	380	—	20	—	10	
高い(III)	15~17歳	380	320	55	55	200	170	120	80	350	350	100	100	150	150	550	430	30	20	10	10
	18~29	380	300	55	55	200	150	120	80	350	350	100	100	150	150	530	390	30	20	10	10
	30~49	380	250	55	55	200	150	120	80	350	350	100	100	150	150	530	390	30	20	10	10
	50~64	320	250	55	55	200	150	120	80	350	350	100	100	150	150	530	360	25	20	10	10
	65~74	320	250	55	55	200	130	80	80	350	350	100	100	150	150	480	340	25	15	10	10
	授乳婦	—	320	—	55	—	170	—	80	—	350	—	100	—	150	—	470	—	25	—	10

(注) ①野菜はきのこ、海藻を含む。また、野菜の1/3以上は緑黄色野菜でとることとする。 ②エネルギー量は、「日本人の食事摂取基準[2020年版]」の参考表・推定エネルギー必要量の約93~97%の割合で構成してある。各人の必要に応じて適宜調節すること。食品構成は「日本食品標準成分表2020年版(八訂)」で計算。

④ 4つの食品群別摂取量の目安による食品構成 (15~17歳, 1人1日あたり, 身体活動レベル普通(II)の場合) (g)

目安 その食品群と 摂取量の	第1群		第2群		第3群			第4群		
	乳・乳製品	卵	魚介・肉	豆・豆製品	野菜	いも	果物	穀類	油脂	砂糖
男	320	55	200	80	350	100	150	480	30	10
女	320	55	120	80	350	100	150	380	20	10
			魚1切れ 豆腐1/4丁(80) (70~100) 		青菜のおひたし 1皿(80) 		サラダ1皿(100) 		ご飯 茶碗4~6杯 (米240~360) 	
	砂糖 大さじ1(9) 									

訂 正 文

	飯	精白米										140*3			
	かきたま汁	卵	15												
		みつば					5								
	魚のホイル蒸し	さけ			80										
		たまねぎ					30								
		わかめ(塩蔵)					2*1								
	さつまいもの レモン煮	レモン							7						
		さつまいも						70							
	きゅうりと トマトと しらすの酢の物	砂糖													7
		レモン							2						
きゅうり						60									
夕食合計	青じそ、プチトマト					21									
	しらす干し			4											
	砂糖													0.8	
	砂糖													7.8	
	夕食合計	0	15	84	0	118	70	9	140	0	7.8				
	間食	ブラウニー													
		スイーツチョコレート*2													
		バター													6
		牛乳	6												
		卵黄		3											
		薄力粉											9		
砂糖													4		
卵白		8													
くるみ*2															
間食合計	小計	6	11	0	0	0	0	0	9	6	4				
1日の合計			276	76	169	20	321	100	86	349	21	14.3			
15~17歳の1人1日摂取量の目安		男	320	55	200	80	350	100	150	480	30	10			
		女	320	55	120	80	350	100	150	380	20	10			

*1 野菜には、きのこ、海藻を含む。*2 スイートチョコレート(22g)とくるみ(6g)は、第4群のその他に入るので、合計に含めていない。*3 2杯分

